

病虫害発生予察注意報第 4 号

佐賀県

作物名：果樹全般（ウメ、モモ、スモモ、ビワ、
ナシ、カキ、ブドウ、キウイフルーツ、
カンキツ類等）

病虫害名：果樹カメムシ類



1. 注意報の内容

発生地域：県内全域

発生量：平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) 令和 7 年の予察灯での誘殺状況

誘殺数は、8 月 4 半旬まで平年より少なかったものの、その後増加し、8 月 6 半旬以降は平年より多く推移した（図 1）。

2) 越冬密度

令和 7 年 12 月に県内 17 地点の常緑広葉樹林の落葉を採集してチャバネアオカメムシの越冬密度を調査した結果、平均越冬密度は 2.51 頭/m²で、平年（0.32 頭/m²）及び前年（0.14 頭/m²）より高かった。また、越冬地点率は 88.2%と平年（44.1%）及び前年（29.4%）より高かった（表 1）。

3) 今後の発生予想

- (1) 前年夏～秋の予察灯での誘殺数が多く越冬密度が高い年には、越冬世代の発生量が多くなって果樹での被害が発生するおそれがある。
- (2) 九州北部の向こう 3 か月の気象予報（福岡管区气象台 3 月 24 日発表）では、4 月～6 月の気温は平年より高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件であることから、果樹園に飛来し被害が発生するおそれがある。

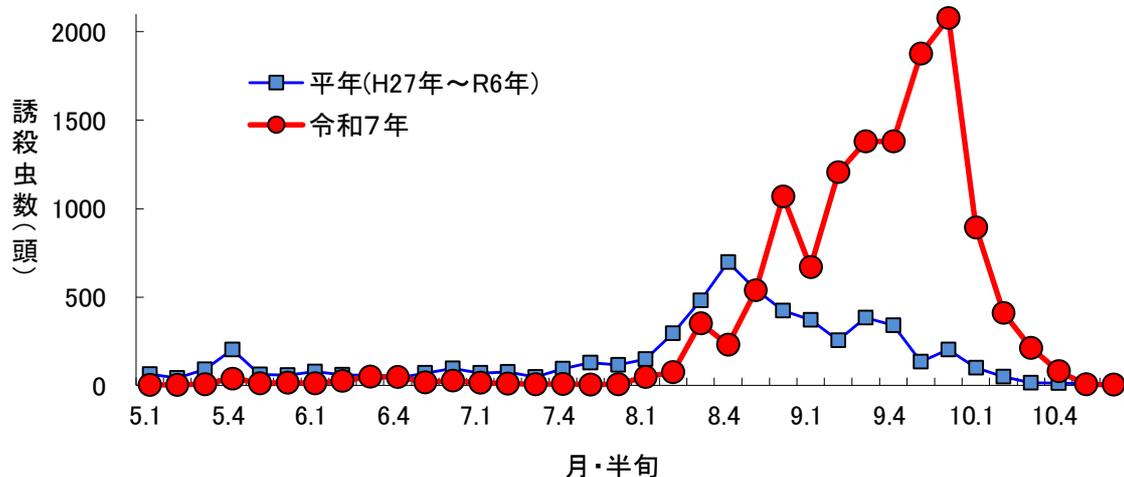


図 1 予察灯での果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移

表1 チャバネアオカメムシの越冬状況¹⁾

調査地域	本年 ²⁾	平年 ³⁾	前年	多発年 (H30)
	頭/m ²	頭/m ²	頭/m ²	頭/m ²
みやき町	4.3	0.4	0	1.0
神埼市	11.7	0.6	0.7	0.7
佐賀市	2.0	0.2	0.3	0
小城市	0	0.1	0	0
多久市	0	0.2	0	1.0
唐津市1	4.0	0.5	0	0
唐津市2	0.3	0.3	0	0.3
伊万里市1	1.0	0.0	0	0
伊万里市2	2.3	0.4	0	0.7
伊万里市3	0.7	0.3	0	1.3
武雄市1	2.0	0.2	0	0.3
武雄市2	0.3	0.5	0.3	1.3
鹿島市1	1.0	0.5	0.7	1.3
鹿島市2	2.3	0.7	0.3	2.7
鹿島市3	1.3	0.4	0	0.7
太良町1	1.0	0.0	0	0
太良町2	8.3	0.4	0	1.3
平均	2.51	0.32	0.14	0.70
越冬地点率(%)	88.2	44.1	29.4	68.4

1) 各地点3カ所(1m²/1カ所)の落葉中の越冬虫数の平均

2) R7年12月に常緑樹林の落葉を採集して調査

3) 平年値はH28～R7の10年間の平均

3. 防除対策

- 1) 飛来状況は、地域、園地、園地内の場所及び樹種によって異なるため、園内外をよく観察し、早期発見に努める。
- 2) 飛来が確認されたら、合成ピレスロイド系薬剤又はネオニコチノイド系薬剤で直ちに防除を行う。両系統の薬剤の残効期間は10～15日程度である。なお、ネオニコチノイド系薬剤は、30～50mm程度の降雨で防除効果が低下するため、散布後に同雨量以上の雨が降ったら再散布する。
- 3) 本虫は夜行性で、日没直後からしばらくの間に最も盛んに飛翔し園内に侵入する。そのため、果樹園に侵入する直前の夕方に薬剤を散布すると効果が高い。また、地域全体で一斉防除を行うと高い効果が得られる。
- 4) 施設栽培では、開口部に防虫ネット(4ミリ以下)を設置する。
- 5) 今後の発生状況は当センターが発表する各種情報及びホームページを参考にし、防除対策の詳細は「佐賀県病害虫総合防除計画」を参照する。

連絡先: 佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

病害虫総合防除計画掲載アドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003101844/index.html>

防除二次元コード*



防除計画二次元コード*

